



2019年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年5月10日
上場取引所 東 名

上場会社名 ジャパンベストレスキューシステム株式会社
コード番号 2453 URL <https://www.ibr.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 榊原 暢宏
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 (氏名) 若月 光博 TEL 052-212-9908
四半期報告書提出予定日 2019年5月10日 配当支払開始予定日 2019年6月11日
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2019年9月期第2四半期の連結業績（2018年10月1日～2019年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年9月期第2四半期	6,111	3.5	738	13.4	878	20.3	1,012	79.4
2018年9月期第2四半期	5,907	△4.9	651	71.8	730	82.9	564	1.6

(注) 包括利益 2019年9月期第2四半期 814百万円 (38.1%) 2018年9月期第2四半期 589百万円 (45.8%)

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2019年9月期第2四半期	32	27	31	98
2018年9月期第2四半期	17	97	17	94

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年9月期第2四半期	17,475		6,926	39.5		
2018年9月期	14,865		6,042	40.6		

(参考) 自己資本 2019年9月期第2四半期 6,907百万円 2018年9月期 6,041百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	銭	円	銭	円
2018年9月期	—		4.00		7.00
2019年9月期	—		7.00		11.00
2019年9月期(予想)			—		7.00
					14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2019年9月期の連結業績予想（2018年10月1日～2019年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円
通期	12,800	8.8	1,650	15.4	1,800	9.5	1,600	34.2	50.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 （社名） 、除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年9月期2Q	34,688,000株	2018年9月期	34,688,000株
② 期末自己株式数	2019年9月期2Q	3,223,341株	2018年9月期	3,403,400株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年9月期2Q	31,378,858株	2018年9月期2Q	31,408,378株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(追加情報)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11
(その他)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外で地政学的リスクが顕著化するなか、緩やかな回復基調が続いております。

このような状況の下、当社グループは「困っている人を助ける!」という経営理念に基づき、「ありがとう」と言っていただける、安心・快適なサービスを提供することで、既存事業の強化と新たな成長基盤の確立に取り組んでまいりました。

当第2四半期連結累計期間における当社グループの経営成績は、売上高は6,111,872千円（前年同期比3.5%増）、営業利益は738,848千円（前年同期比13.4%増）、経常利益は878,413千円（前年同期比20.3%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,012,543千円（前年同期比79.4%増）となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間における作業件数はガラス関連サービス3千件、水まわり関連サービス15千件、カギの交換関連サービス18千件及びパソコン関連サービス3千件であります。

各セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

① 駆けつけ事業

生活救急車サイトの集客増加が進むものの、タウンページからの集客が減少したことにより、当第2四半期連結累計期間における当事業の売上高は、795,570千円（前年同期比11.1%減）となり、営業利益は76,767千円（前年同期比3.6%増）となりました。

② 会員事業

安心修理サポート・安心入居サポートを中心に会員数が増加したことにより、当第2四半期連結累計期間における当事業の売上高は、3,237,443千円（前年同期比6.5%増）となり、営業利益は714,085千円（前年同期比6.3%増）となりました。

③ 少額短期保険事業

家財保険「新すまいRoom保険」の契約件数が順調に増加したことにより、当第2四半期連結累計期間における当事業の売上高は、1,926,760千円（前年同期比8.6%増）となり、営業利益は160,214千円（前年同期比2.0%減）となりました。

④ リペア事業

施工単価の高い案件の受注が進むものの、施工単価の低い案件の整理を進めたことにより、当第2四半期連結累計期間における当事業の売上高は、179,711千円（前年同期比22.6%減）となり、営業損失は28,391千円（前年同期は営業損失26,254千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末と比べ1,074,630千円増加し、10,626,251千円となりました。これは主に、現金及び預金が980,691千円、受取手形及び売掛金が175,272千円増加したことによるものであります。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、前連結会計年度末と比べ1,525,108千円増加し、6,838,919千円となりました。これは主に、貸倒引当金が1,383,241千円減少したことによるものであります。

(繰延資産)

当第2四半期連結会計期間末における繰延資産の残高は、前連結会計年度末と比べ9,967千円増加し、9,967千円となりました。これは、社債発行費が9,967千円増加したことによるものであります。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末と比べ200,957千円増加し、4,816,537千円となりました。これは主に、買掛金が96,060千円、前受収益が93,103千円増加したことによるものであります。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、前連結会計年度末と比べ1,524,907千円増加し、5,732,463千円となりました。これは主に、社債が1,290,000千円、長期前受収益が340,796千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末と比べ883,841千円増加し、6,926,138千円となりました。これは主に、利益剰余金が793,551千円、資本剰余金が215,170千円増加したことによるものであります。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で前連結会計年度との比較・分析を行っております。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の期末残高は、8,537,251千円(前年同期比40.6%増)となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により獲得した資金は、807,884千円(前年同期比27.1%減)となりました。これは主に、貸倒引当金の減少1,380,240千円があったものの、破産更生債権の減少1,383,091千円、税金等調整前四半期純利益841,719千円の計上があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は1,393,853千円(前年同期比289.1%増)となりました。これは主に、投資有価証券の売却による収入741,839千円があったものの、投資有価証券の取得による支出1,862,415千円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により獲得した資金は、1,366,661千円(前年同期は1,035,990千円の支出)となりました。これは主に、社債の発行による収入1,489,912千円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想に関しましては、2019年5月8日の「法人税等調整額(益)の計上等及び業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,756,559	8,737,251
受取手形及び売掛金	920,271	1,095,543
商品	72,305	70,668
貯蔵品	6,243	6,936
その他	810,669	733,280
貸倒引当金	△14,428	△17,428
流動資産合計	9,551,621	10,626,251
固定資産		
有形固定資産	136,331	129,385
無形固定資産		
のれん	147,662	118,564
その他	325,854	346,037
無形固定資産合計	473,517	464,601
投資その他の資産		
投資有価証券	3,716,264	4,636,915
その他	2,468,116	1,705,195
貸倒引当金	△1,480,419	△97,178
投資その他の資産合計	4,703,962	6,244,932
固定資産合計	5,313,811	6,838,919
繰延資産	—	9,967
資産合計	14,865,433	17,475,139
負債の部		
流動負債		
買掛金	405,350	501,410
短期借入金	700,000	500,000
未払法人税等	320,943	146,427
賞与引当金	2,086	53,999
会員引当金	153,961	151,008
支払備金	36,578	34,728
責任準備金	585,850	595,511
前受収益	1,658,138	1,751,242
その他	752,669	1,082,208
流動負債合計	4,615,579	4,816,537
固定負債		
社債	—	1,290,000
資産除去債務	54,967	52,654
長期前受収益	4,003,047	4,343,843
その他	149,541	45,965
固定負債合計	4,207,555	5,732,463
負債合計	8,823,135	10,549,000

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	780,363	780,363
資本剰余金	3,627,749	3,842,919
利益剰余金	2,153,071	2,946,622
自己株式	△1,046,176	△990,357
株主資本合計	5,515,007	6,579,547
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	526,590	328,348
その他の包括利益累計額合計	526,590	328,348
新株予約権	700	18,242
純資産合計	6,042,297	6,926,138
負債純資産合計	14,865,433	17,475,139

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)
売上高	5,907,605	6,111,872
売上原価	3,128,456	3,292,024
売上総利益	2,779,149	2,819,848
販売費及び一般管理費	2,127,384	2,080,999
営業利益	651,764	738,848
営業外収益		
受取利息	883	89
受取配当金	96,202	13,234
投資有価証券売却益	—	135,433
その他	7,432	9,129
営業外収益合計	104,517	157,886
営業外費用		
支払利息	1,306	558
投資有価証券売却損	—	4,282
投資事業組合運用損	15,423	5,365
自己株式取得費用	652	—
支払手数料	—	6,146
その他	8,478	1,968
営業外費用合計	25,861	18,321
経常利益	730,421	878,413
特別利益		
投資有価証券売却益	58,272	—
資産除去債務戻入益	—	4,387
その他	5,290	—
特別利益合計	63,563	4,387
特別損失		
固定資産除却損	249	—
投資有価証券評価損	15,104	39,582
その他	0	1,499
特別損失合計	15,354	41,081
税金等調整前四半期純利益	778,630	841,719
法人税等	214,309	△170,824
四半期純利益	564,320	1,012,543
親会社株主に帰属する四半期純利益	564,320	1,012,543

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)
四半期純利益	564,320	1,012,543
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	25,256	△198,242
その他の包括利益合計	25,256	△198,242
四半期包括利益	589,577	814,301
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	589,577	814,301
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	778,630	841,719
減価償却費	46,441	57,003
のれん償却額	33,914	29,098
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△12,288	△1,380,240
賞与引当金の増減額 (△は減少)	186	51,913
会員引当金の増減額 (△は減少)	△25,093	△2,952
受取利息及び受取配当金	△97,085	△13,323
支払利息	1,306	598
資産除去債務戻入益	—	△4,387
固定資産除却損	249	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	△58,271	△131,150
投資有価証券評価損益 (△は益)	15,104	39,582
売上債権の増減額 (△は増加)	△149,610	△175,272
たな卸資産の増減額 (△は増加)	10,259	944
前払費用の増減額 (△は増加)	△71,663	206,342
未収入金の増減額 (△は増加)	△114,923	△135,519
差入保証金の増減額 (△は増加)	1,646	△7,136
破産更生債権等の増減額 (△は増加)	4,489	1,383,091
仕入債務の増減額 (△は減少)	30,537	96,060
未払金の増減額 (△は減少)	146,766	144,544
前受収益の増減額 (△は減少)	208,115	93,103
長期前受収益の増減額 (△は減少)	221,066	340,796
その他	116,276	△354,902
小計	1,086,054	1,079,911
利息及び配当金の受取額	97,084	13,323
利息の支払額	△1,198	△3,035
法人税等の支払額	△73,504	△282,314
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,108,435	807,884

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△200,000
有価証券の償還による収入	100,000	—
有形固定資産の取得による支出	△4,833	△3,638
有形固定資産の売却による収入	1,650	150
無形固定資産の取得による支出	△108,042	△69,790
投資有価証券の取得による支出	△767,395	△1,862,415
投資有価証券の売却による収入	413,858	741,839
貸付金の回収による収入	1,286	—
その他	5,290	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△358,185	△1,393,853
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△45,000	△200,000
長期借入金の返済による支出	△628,168	—
社債の発行による収入	—	1,489,912
自己株式の取得による支出	△170,580	—
新株予約権の行使による株式の発行による収入	1,440	270,150
新株予約権の発行による収入	700	18,445
配当金の支払額	△187,839	△210,103
その他	△6,542	△1,743
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,035,990	1,366,661
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△285,739	780,691
現金及び現金同等物の期首残高	6,356,732	7,756,559
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,070,992	8,537,251

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、第6回新株予約権の権利行使による自己株式の処分を行いました。これを主な原因として、資本剰余金が215,170千円増加し、自己株式が55,819千円減少しており、当第2四半期連結会計期間末において資本剰余金は3,842,919千円、自己株式は990,357千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2017年10月1日至2018年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	駆けつけ	会 員	少 額 短 期 保 険	リ ペ ア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	895,303	3,038,488	1,741,555	232,258	5,907,605	—	5,907,605
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	1,119	32,152	—	33,271	△33,271	—
計	895,303	3,039,607	1,773,708	232,258	5,940,877	△33,271	5,907,605
セグメント利益 又は損失(△)	74,119	671,722	163,469	△26,254	883,055	△231,290	651,764

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△231,290千円には、セグメント間取引消去2,962千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△234,253千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2018年10月1日至2019年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	駆けつけ	会 員	少 額 短 期 保 険	リ ペ ア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	795,570	3,236,281	1,900,309	179,711	6,111,872	—	6,111,872
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	1,162	26,451	—	27,613	△27,613	—
計	795,570	3,237,443	1,926,760	179,711	6,139,485	△27,613	6,111,872
セグメント利益 又は損失(△)	76,767	714,085	160,214	△28,391	922,675	△183,827	738,848

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△183,827千円には、セグメント間取引消去2,588千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△186,415千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(その他)

(重要な訴訟事件等)

当社は、当社の子会社であった株式会社バイノスに対し、金銭消費貸借契約に基づき金銭の貸付を行っていましたが、同社が2016年1月19日に福島地方裁判所郡山支部より破産手続開始決定を受けたことから、その連帯保証人である同社の元代表取締役湯川恭啓氏を被告として、保証債務の履行を求める民事訴訟を、名古屋地方裁判所に提起し、提出日現在係争中であります。